

免疫検査 報告書

基本情報

依頼医師名: ***

検査ID: ***

被験者名: サンプル

施設名: *****

検体採取日: 2015/10/3 (土)

検査受付日: 2015/10/3 (土)

検査報告日: 2016/10/18 (火)

検査項目

項目名	測定値						数値
	レドゾーン	ボーダーゾーン	セーフゾーン	セーフゾーン	ボーダーゾーン	レドゾーン	
■白血球数							4,200 / μ L
■顆粒球数							2,800 / μ L
白血球中での顆粒球数 :百分率							67.0 %
■単球数							300 / μ L
白血球中での単球数 :百分率							6.9 %
■リンパ球数							1,100 / μ L
白血球中でのリンパ球数:百分率							26.1 %
□Tリンパ球数							770 / μ L
リンパ球中でのCD3+細胞数 :百分率							70.0 %
□CD4+ α β T細胞							394 / μ L
リンパ球中でのCD3+CD4+細胞数 :百分率							35.8 %
□CD8+ α β T細胞							326 / μ L
リンパ球中でのCD3+CD8+細胞数 :百分率							29.6 %
□ γ δ T細胞							75 / μ L
リンパ球中でのCD3+V γ 9+細胞数:百分率							6.81 %
□制御性T細胞(免疫抑制作用)							44 / μ L
CD3+CD4+細胞中でのCD25+CD127-/low細胞数:百分率							11.2 %
▽CD4/CD8比							1.2
□B細胞数							142 / μ L
リンパ球中でのCD19+細胞数 :百分率							12.9 %
□NK細胞数							140 / μ L
リンパ球中でのCD3-CD56+細胞数:百分率							12.8 %
■NK細胞細胞傷害活性 (NK活性)							43 %

備考:

ご報告NK活性 ET比 (PBMC:K562= 12:1)

コメント

・細菌を殺す好中球がほとんどを占める顆粒球数は 基準内 です。

・多すぎると免疫の働きを抑えてしまう単球数は 基準内 です。

・がん細胞やウイルス感染細胞の傷害に

中心的役割を果たす細胞であるリンパ球数は 低値 、

Tリンパ球は 低値 、

NK細胞数は 低値 です。

・リンパ球の細胞傷害性を抑制する

制御性Tリンパ球の割合は 高値 です。

・血液中のリンパ球のがん細胞を傷害する活性

(NK活性) は 基準内 です。

・あなたの免疫年齢は

18歳

です。

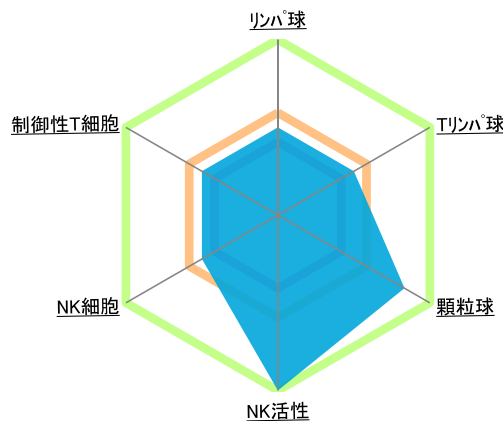
・からだの免疫状態を改善して良く保つために、体を冷やさず、

食事や飲み物は温かいものをとり、規則正しい睡眠、口腔ケア

などを心がけてください。

グラフ

免疫細胞 レーダーチャート



※制御性T細胞については高値は図の低値域に、低値は図の高値域に表示されます。